

令和8年3月定例会

一般質問通告書

令和8年3月3日(火)・4日(水)

通告順	質問議員名	項目
1	飯畠 秀夫	3
2	佐藤 八郎	4
3	佐藤 健太	3
4	横山 秀人	4
5	佐藤 勝見	3

飯館村議会

通告順	1	質問議員名	4 番 飯 畑 秀 夫
<b>1. 風力発電について</b>			
①	東急不動産株式会社から本村南側に計画中の風力発電事業進捗状況の説明を受けました。風力発電出力4300KWが22基、最大94600 kW (6万3千世帯分) と発電出力が大きいが、村民に対して説明をいつ行うのか伺う。		
②	仮に風力発電事業が許可されたら固定資産税、償却資産税をどのくらい見込んでいるのか伺う。		
③	本村で風力発電の電気を活用できるのか、また電気料金が安くなるのか伺う。		
④	国・県から風力発電事業が認可されたら本村と協定を結ぶことになるが、現在どのような話し合いをしているのか伺う。		
<b>2. いいたて希望の里学園について</b>			
①	特別支援学級の現状を伺う。		
②	本校で特別支援学校教諭免許状を取得している先生は何人いるのか伺う。		
<b>3. 学校給食について</b>			
①	調理業務委託をしているが現状と課題について伺う。		
②	物価高騰で米や野菜や肉等が値上がりしているが、学校給食の影響を伺う。		
③	本校での地産地消の取り組みを伺う。		

通告順	2	質問議員名	8番 佐藤 八郎
<b>1. 子ども・女性の健康と医療・福祉について</b>			
①	育児・介護休業、看護休暇と一時預かり事業及び子育て短期支援、援助活動支援、地域子育て支援拠点事業の実態と課題を伺う。		
②	教育費の父母負担・貸付金、学校での事故への給付など補償制度（保健安全法・共済給付制度など）を伺う。		
<b>2. 高齢者の福祉について</b>			
①	生活支援、介護予防・生きがい活動、住宅安定確保、家族介護支援体制、健康づくり推進、緊急通報体制の整備など各種事業の実態と課題を伺う。		
②	サービス利用の支援や相談窓口での実態と課題を伺う。（在宅介護・地域包括支援センター）		
③	要援護者や一人暮らしの高齢者等への日常生活用具の支給や貸与の実態と課題を伺う。		
④	介護サービスを受ける時の申請、訪問調査とあるが、サービス計画からサービス開始までの実態と課題を伺う。		
<b>3. 生活に困った時の支援について</b>			
①	生活福祉、母子・父子・寡婦福祉、臨時特例つなぎ資金、更に応急小口資金貸付などの実態と課題を伺う。		
<b>4. 原発事故から15年目について</b>			
①	自然界の多くの森林など無除染（全体の約84%）であるが、長泥含め村全面積にある放射性物質の除去・隔離はどのように復旧させるのか伺う。		
②	長泥地区はこれからが各事業スタートとしているが、他19行政区への対応（賠償・助成）はどのように村民の代表として求めていくのか伺う。		
③	インフラ整備への加害者（国・東電）の考える内容と計画は、村民の為にどのように協議されいつ村民に周知されるのか伺う。		
④	医療費等減免措置・無料化を継続するよう、村民の命と健康を守る上でも要求すべきだと思うが、村の考え方を伺う。		
⑤	村民はADR・裁判などで異議を申し立てているが、村民が村に協議事項を要望したり具体的に示した時には、村の長として村民の立場で求めるのか伺う。		
⑥	15年目となる中で、賠償・助成への追加希望がかなり増えているが、東電窓口は休みを増やしており、謝罪しながら拒否することも増えていると聞くが、村の長として実態と所見を伺う。		

通告順	3	質問議員名	9 番 佐藤 健太
<b>1. 医療体制について</b>			
①	昨年の12月で院内処方が終了したと聞いているが、なぜそうなったのかと、今後の対応を伺う。		
②	現在、本田先生に訪問を含め診察を行っていただいているが、今後の安定した医療体制の構築には、次の世代の医師・看護師の確保が必須であるが、村の考えを伺う。		
<b>2. 産業団地整備と企業誘致について</b>			
①	産業団地の整備にあたり、誘致ターゲットとする企業の求めるインフラスペック（電力、水量、通信網等）をどう設定しているか伺う。		
②	産業団地に企業誘致を進めるにあたって飯館村独自の強みを活かした差別化戦略はあるのか伺う。		
<b>3. 風力発電について</b>			
①	現在村内において、大規模な風力発電計画が進められていますが、今後の村の自主財源や地域内経済循環を作るためにも、村も事業主体へ積極的に出資し、株主という立場で共同で事業を推進すべきと考えますが、村の考えを伺う。		

通告順	4	質問議員名	2番 横山秀人
<b>1. いいたてクリニックの院内処方終了を踏まえた、村民が安心できる医療・介護体制について</b>			
①	村と同じ原子力災害被災地である楢葉町では、町が「ならは薬局」を開設し、調剤だけでなく健康相談や在宅訪問にも取り組んでいる。人口規模や医療環境の違いはあるが、飯舘村の実情に合った形で薬局の開設や誘致を検討する考えはないか伺う。		
②	オンライン服薬指導や薬の配送など当面の代替手段について、県薬剤師会や近隣薬局との連携も含めた導入状況と今後の見通しを伺う。		
③	院内処方の終了を一つのきっかけとして、いいたてクリニック利用者だけでなく、移住者や子育て中の保護者なども含めた幅広い村民の声を直接聞き、今後の医療・介護サービスのあり方を検討する場を、新たに設けるべきと考えるが、村長の見解を伺う。		
<b>2. 「いいたて村の道の駅までい館」における生産者支援と販売力の強化について</b>			
①	「いいたて村の道の駅までい館」における農産物・加工品等の売上の推移を、村はどのように把握し、生産者の経営課題にどのように向き合っているのか伺う。		
②	議会主催の村民懇談会で寄せられた「売れ残り対策」「加工場設置」「ふるさと納税を活用した販路拡大」「観光や交流を通じた集客促進」「サル・イノシシによる農産物被害への対応」等の意見に対し、村としてどのように応えていくのか伺う。		
③	「いいたて村の道の駅までい館生産者の会」の会員から「5~10年で生産者がいなくなるおそれがある」との声が出されている。道の駅の出荷者を含めた村内農畜産業の担い手不足に対し、総合計画に掲げる「稼げる農畜産業の実現」をどのように具体化していくのか伺う。		
<b>3. 危険空き家対策の計画的推進について</b>			
①	危険な空き家の実態把握はどこまで進んでいるのか。また、空き家対策に関する計画は策定されているのか伺う。		
②	空家法に基づく所有者への指導や勧告の実施状況と、その実施にあたっての課題は何か伺う。		
③	国や県の補助制度を活用した解体費用の補助や、所有者が気軽に相談できる窓口の設置など、村として具体的にどのような対策を進めていくのか伺う。		
<b>4. 未登記村有地の計画的解消について</b>			
①	約1,100筆の未登記村有地はいずれ登記手続きを行う必要があり、時間が経つほど費用と職員の負担が増えることが懸念される。全筆解消に向けた年次目標を設定することの必要性を、村はどのように認識しているのか伺う。		
②	登記手続きの外部委託に加え、役場職員が法律に基づき自ら登記手続きを行う体制をとることが、解消のスピードアップとコスト削減につながると考えるが、その必要性をどのように認識しているのか伺う。		
③	すでに相続が終わっているなど、権利関係が整理されていて、すぐに着手できる土地から優先的に進めるべきと考えるが、村の方針を伺う。		

通告順	5	質問議員名	1 番 佐 藤 勝 見
<b>1. 子育て支援について</b>			
①	物価高対応子育て応援手当の支給について、0歳から高校3年生まで子ども一人当たり2万円を支給するとあるが、村として独自で上乗せして支給する考えはあるのか伺う。		
<b>2. ゼロカーボンについて</b>			
①	村内の電気自動車EV充電器の設置場所については、現在の道の駅に加え、3か所新設するようであるが、新設に至った経緯を伺う。		
②	現在村の公用車にはEV自動車は無いようであるが、公用車を更新する際はEV自動車に切り替えて行くのか、村の考えを伺う。		
<b>3. DXについて</b>			
①	飯館村災害用メール配信サービスが4月より開始されるが、防災情報以外の、避難に関する情報や村からのお知らせについては、どのようなことが配信されるのか具体的な内容を伺う。		
②	飯館村防災用戸別受信機を行政区長に無償貸与するとあるが、1台当たりどの位の費用になるか伺う。		